



ひかりのこ

2022年度 **夏号 (7・8月)**

日本キリスト教団

名古屋新生教会 子どもの礼拝(CS)

名古屋市西区天神山3-7 TEL.052-531-1820

ホームページ: [名古屋新生教会](#) 検索

コロナの影響は、まだまだいろんな制限があるけれど、3年ぶりに4月からの1学期の間、「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」のない日々が続きました。コロナ前の状況には戻らないですが、少しずつ“新たな時代”に向かっていますね。ステキな夏を過ごしてください！

7・8月の礼拝 単元23: 世界に広がる福音

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4～中学生以上) 9:00～9:30	分級 (小学生/中学生以上) 9:35～9:55	こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～10:20
7月3日	パウロの回心	使徒言行録 8:1-3, 9:1-22	武岡 基	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡路実
7月10日	アンティオキア教会の誕生	使徒言行録 11:19-30, 13:1-12	武岡路実	(状況をみて) プレイ・タイム	安達いづみ
7月17日	リストラでの宣教	使徒言行録 14:8-28	林 小夜子	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡 基
7月24日	エルサレム会議	使徒言行録 15:1-35	安達正樹牧師	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師
7月31日	フィリピでの宣教	使徒言行録 15:36-16:40	武岡 基	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師
8月7日 平和聖日	アテネでの宣教	使徒言行録 17:16-34	武岡 基	(状況をみて) プレイ・タイム	武岡路実
8月14日	エフェソでの宣教	使徒言行録 19:1-20	武岡路実	(午後) CSミニ夏まつりI	安達いづみ

単元24: キリスト者の働き

8月21日	テモテ	使徒 16:1-5 テモテII 1:1-5, 3:14-4:5	林 小夜子	(午後) CSミニ夏まつりII	武岡 基
8月28日	アキラとプリスキラ	使徒言行録 18:1-3, 18-28 ローマ 16:3-4	安達正樹牧師	(状況をみて) プレイ・タイム	安達正樹牧師

○礼拝はいつもどおりです (教会での礼拝を休止する場合は、またお便りでご連絡します)

◆ティーンズ礼拝 (小4～中学生) 9:00～

◆こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～

分級はありませんが、礼拝後にはCS館 (ふたば館) で気分転換してもらっても構いません。宿題を持ってきて自習するのもよし、友だちと語るのもよし…

ただし、各自感染防止対策をお願いします。また、人数を制限することもあります。

○サマーキャンプ 中止

2019年まで、岐阜県白川町にある蘇原教会にてサマーキャンプを行ってきました。山に囲まれ自然豊かな中で、川遊びやバーベキュー、テントでの宿泊などを通して、友だちと楽しい時間を共にすることができました。たいへん残念ではありますが、3年続けて今年度も中止とします。来年こそはサマーキャンプができますよう祈っています。



○CSミニ夏まつり

サマーキャンプに代わる夏の行事として、昨年に続き「CSミニ夏まつり」を開催します。

8月14日 (日) と 8月21日 (日) の2回、いずれも教会で昼食を食べてから午後に行います。何をやるかは、お楽しみに☆ 詳しくはまたお知らせします。

(参加は、いつも教会に来ているお友だちに限定します。)

7月・8月の聖句

うご 動かされないようにしっかり立ち、主の業に常に励みなさい。

(使徒言行録 15:58)

7月・8月のさんびか♪



こどもさんびか 100 (せかいのこどもは)

この夏、子どもの礼拝では「世界に広がる福音」「キリスト者の働き」を学びます。「福音」とは、「良い知らせ」「イエスさまの言葉」を意味します。イエスさまの言葉は、時代を超え、全世界に渡って伝えられています。2000年も昔の人が大切にした言葉、外国の人が大切にした言葉、それが言語こそ違っても現代の私たちにも通じるなんて不思議ですね。それは、私たち人間にとって普遍的な (いつでもどこでも誰にでも当てはまる) ことだからではないでしょうか。おそらく、この先時代が変わり、社会が変わり、物事の価値観が変わっていったとしても1000年後、2000年後の人類も今の私たちと同じように、イエスさまの言葉を受け取るのではないのでしょうか。

今月のさんびかは100 (せかいのこどもは) です。世界の平和を祈る時や、多様性を感謝し受け入れる時に、愛唱されてきた賛美歌です。作詞者の山内捷三 (やまうち しょうぞう) さんに関しての詳細は不明です。作曲者の山本直純さん (1932-2002) は、日本の有名な作曲家であり指揮者です。作品としては「一年生になったら」「こぶたぬきつねこ」などの有名な童謡から、テレビ主題歌、CMソング、さらには交響曲と、幅広いジャンルにわたっています。また、「オーケストラがやってきた」(TBS 1972～1983年) をはじめ、テレビにも多数出演していました。

この賛美歌が最初に発表された『日曜学校讃美歌』(1944) では「東亜の子供はお友達」という題で、戦時下の世界観をそのまま反映している歌詞でした。1944年、山本直純さん12歳の時の作品あるいはそれ以前の時代の作品ということになります。彼の父であり作曲家の山本直忠さんのもと、幼い頃から音楽英才教育を受け、子どもの頃から作曲をしていたとも言われています。

終戦後、1947年に臨時版として出版された『日曜学校讃美歌』で不採用となりましたが、『日曜学校讃美歌』(1949)、『こどもさんびか』(1953)、『こどもさんびか』(1966) に「せかいのこどもは」として収録され、改定のたびに少しずつ歌詞が変更されてきました。

出発点こそ、戦時色の濃い賛美歌でしたが、戦後「東亜」から「世界」へと変更することによって、現代的なセンスを持った賛美歌となりました。今では、平和主日の時などに歌われ、世界中の子どもたちと一緒に歌声を合わせて、真の平和、神の平和を祈り求めましょうというエキュメニカルな (キリスト教の教派を超えた結束を目指す考え方) 賛美歌です。歴史の中で不思議な変遷をとげてきた賛美歌といえます。



おたんじょうびおめでとう🎂

7・8月生まれのお友だち